

WIDE VIEW MINI BACK CAMERA & 7 INCH LED MONITOR

取扱説明書



- 本製品をご使用になる前に必ず本説明書をお読みください。

目次

目次	1
ご使用になる前に	1
安全上の注意・警告	1～2
商品構成一覧	2
スタンドを設置する前に / スタンドの取付け	3
モニターケーブルの接続方法	4
純正ミラーへの取り付け	4
カメラの取付接続方法	5
カメラのお手入れについて	5
本体/リモコンの操作方法	6
モニター画面の調整 / 設定	7
駐車線の設定	8
故障かなと思ったら	8
製品仕様	9
法規の改正	10
保証書	11

本製品をご使用になる前に必ず本説明書をお読みください。

安全のために必ずお守りください。

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに記載した事項は安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方が何時でも見られる所に保管ください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いを行うと死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いを行うと損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を表示しています。

安全上の警告・注意

警告

- 万一異常が発生したら、車両のメインスイッチを切ってください。映像が出ない、煙、異臭、異音など、異常な状態のまま使わないでください。火災の原因になる場合があります。
この様な時はすぐに車両の運行を停止して電装品の電源を遮断し販売店にご相談ください。
- 運転手の視界を妨げる場所には、絶対に取付けしないでください。交通事故の原因になります。
- 運転操作（ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどの操作）を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けや配線をしないでください。
- エアバックが装着されている車両に取付ける場合は、作動時の妨げになるような場所には取り付けや配線をしないでください。
- 運転中にはモニター操作・画面の注視をしないでください。操作は必ず停止中に行ってください。
- 故障や異常のままに使用しないでください。異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
- 分解や改造はしないでください。内部には電圧の高い部分があり、発火・感電の原因となる場合があります。

注意

- ケーブルを傷つけない、ケーブルは紫外線が直接あたる場所に配線しないでください。被覆が硬化してこわれやすくなります。
またケーブル自体にテンションをあたえたり、熱い所に近づけるとケーブルが破損します。
- 凍結防止剤または海水付着後は洗浄を行ってください。付着したままにして置くと、カメラが腐食しやすくなり、内部に水が入り故障する場合があります。
- カメラのレンズ部のお手入れをお願いします。レンズユニットに汚れやほごりが付着すると曇ったように見にくくなります。汚れる前に定期的なお手入れをお願いします。

安全上の警告・注意

注意

- 不安定な場所には取付や配線はしないでください。落ちたり、傾いたりして怪我や事故の原因になります。
- モニター取付スタンドの取付けは、安全のためにしっかり固定できる水平な場所へ貼り付けてください。ダッシュボードの材質や形状など取付出来ない場合もあります。
- ダッシュボードの素材が樹脂製ではない場合は取付時、表面を痛める場合があります。
- 本製品の動作温度範囲は製品仕様書P9に記載の通りになりますので超えた温度状況でのご使用は控えてください。
- カメラを取り付ける場合は、車幅からはみ出さない場所、また車の前後からはみ出さない場所に設置ください。
- 強い衝撃を与えないでください。落下させたり、強くたたいたりすると故障の原因になります。
- 大きい温度差がある場所は避けてください。モニター内部が結露して故障の原因となります。
- ほごりまたは高い湿気を避けてください。
- モニターは直射日光・温風・冷風が直接あたる場所・マイナス温度になる環境下での使用は避けてください。
- DC12V～24Vのマイナスアース車専用です。
- 車体に穴を空けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用してください。コード類の摩擦によりショートし、本体の故障や火災の原因となります。
- 車体に穴を開けてコード配線を行う場合は、雨水が侵入しないようシリコン接着剤などで密封してください。
- 必ず付属部品を指定通りに使用してください。誤った使用は本機の脱落や故障などの原因につながります。

商品構成一覧

- モニター(電源・外部入力付き).....1個
- バックカメラ.....1個
(グロメット・ブラケット含め)
- バックカメラ用カバー...1個



- リモコン(電池付き).....1個
(電池品番CR2025)



- カメラ用固定ネジ
カメラ・ブラケット固定用ネジ(M3×6).....2個
ブラケット固定用ネジ(4×13).....2個
ブラケット固定用ネジ(M3×16)・ナット(30)・3組



- スタンド1個
スタンド固定用タッピングネジ 黒...M4 × 15mm



- 取扱説明書

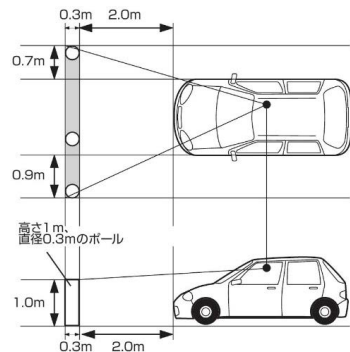


スタンドの設置するまえに

付属のモニタースタンドは上下に設置できるタイプのモニタースタンドです。
設置場所を定め、その位置が運転時の視界の邪魔にならない位置であるかご確認ください。

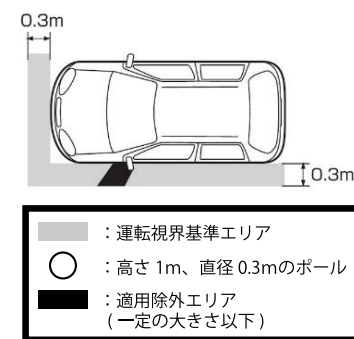
前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のボールが直接確認できるように取り付けてください。



※上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

直前側方視界に関して



- : 運転視界基準エリア
- : 高さ 1m、直径 0.3mのボール
- : 適用除外エリア (一定の大きさ以下)

スタンドの取付け

① モニターを固定するダブルネジを緩めてモニターを固定してください。

② 取り付ける位置を仮決めてください。

吸着面のフィルムを剥がさずに、設置したい面に
当て本体を取り付ける位置を決めてください。
固定する面の油分や汚れを除去ください。

③ 取り付ける場所に吸着面のフィルムを剥がして強く押し当ててください。

両面テープの特性として接着力が安定するのに24時間かかります。
接着力が安定するまで大きな負荷をかけないでください。
天吊りをする場合は落下防止のため、付属のビスとの併用で固定ください。

⚠ 警告：エアバック装着車に取付る場合はエアバックのカバー部分および作動時の妨げにならない場所に設置ください。

⚠ 注意：取付けたあとは、モニター取付スタンドを引っ張って、接着面が確実に固定されていることを確認ください。

④ モニターの底面がダッシュボードに当たるように調整してください。

⚠ 注意：モニター底面がダッシュボードに当たっていないと接着面に負荷がかかり落下する場合があります。

⑤ 最後に横の角度調整レバーを使って見やすい角度に設置ください。



純正ミラーへの取り付け

パネルバン（箱車）のトラック車両でルームミラーが標準装備されている車両はミラーを固定している純正ステイを利用して固定ができます。

純正ステイイメージ写真



純正ステイにモニターホルダーを固定した写真



- ・純正ステイの固定が出来る最小サイズは13mm、最大サイズは16mmとなります。
- ・付属スタンドからモニターホルダーを外してください。
- ・純正ステイにモニターホルダーとモニターを固定してください。

※注意事項

平ボディー車両や一般車両へのルームミラー箇所への固定は出来ません。

モニターケーブルの接続方法

配線イメージ



- ① AV1入力 : カメラ接続
- ② AV2入力 : 映像-黄色 / オーディオ-白色
- ③ 赤色ケーブル : DC+12~24V ※ヒューズボックス30mm3Aヒューズ
- ④ 黒色ケーブル : GROUND(アース)
- ⑤ オレンジ色ケーブル : AV1優先(REAR VIEW=ON)
※オレンジ線に信号が入るとREAR VIEW(AV1)が切り替えとなります。
バックしたときに自動切換えさせたい場合はオレンジ線をバック信号につなぎます。
- ⑥ 青色ケーブル : AV2優先(SIDE VIEW=ON)
※青色線に信号が入るとSIDE VIEW(AV2)が切り替えとなります。
方向指示したときに自動切換えさせたい場合は青線を方向指示(ウィンカーL/R)信号につなぎます。

カメラの取付接続方法

1. カメラの取付位置を決め、カメラを取付ける。

取付時の注意事項

- ・カメラ本体設置用の付属ネジは種類の異なるネジを2種類用意しておりますが設置個所の強度によってネジが使えない場合があります。
 - ・その場合は状況に応じて市販のボルトとナット・ワッシャーをご用意頂き適切な設置を行ってください。
 - ・カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引っ張ったりすることは、絶対にしないでください。
 - ・泥はねや排気ガス等で表面ガラス部が汚れやすいところへの取付は避けてください。
- ① **車体側にカメラ固定用ブラケット取付穴2箇所、及びケーブル通し穴を加工します。**
 - ・付属のグロメットを使用する場合は13mmの穴を空けてください。
 - ② **取付金具を付属のネジもしくは市販品のネジで本体側にしっかりと固定します。**
 - ・大型車両の箱は鉄板が厚くタッピングネジで固定が出来ない場合があります。
 - ・その場合は市販のボルトとナットをご用意ください。
 - ③ **カメラ本体・カバーを付属の座金組込ネジを使用し仮止めをします。**
 - ④ **「配線イメージ」をご覧になり配線を行います。**
 - ⑤ **配線終了後、リアバンパーまたは車両後端がモニター画面に映るように、カメラの取付角度を調整します。**
 - ⑥ **カメラ取付角度調整後、仮止めしたネジをしっかりと締めつけてカメラ本体を固定します。**
 - ⑦ **車体に加工した取付穴、ネジ部及びケーブル通し穴は、必ずシーリング材(シーラント材など)で防水処理・防錆処理をおこなってください。**
- ### 2. ケーブルを配線してモニターに接続する。

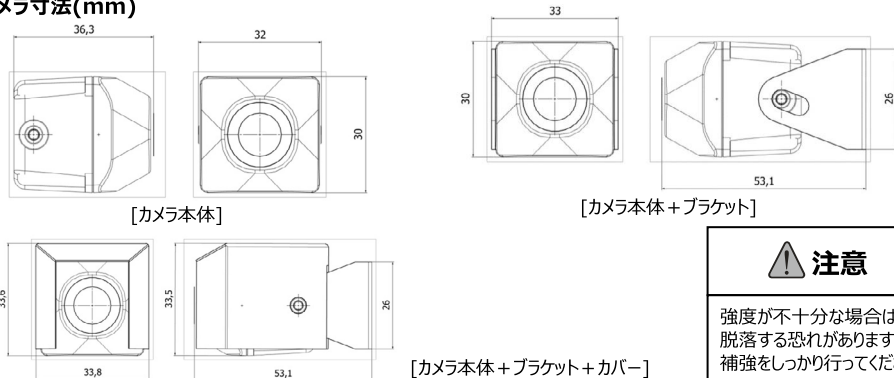
- ・カメラユニットと延長ケーブルを接続してモニターまで配線します。
- ・バックギアに連動させる場合はモニターのオレンジ線を車両のバック信号線に接続します。
- ・モニターとカメラを繋ぐ接続ケーブルは長さの異なるケーブルが2種類付属されていますので車種に合わせて延長させて使用下さい。



3. カメラの角度調整を行う。

- ・箱車でカメラを上部中央に設置した場合、モニターに映し出されるバック画像を確認し、モニター下部に有る横車線(赤)を車両のバーやバンパー等に合わせてください。

・カメラ寸法(mm)



注意
強度が不十分な場合は脱落する恐れがありますので補強をしっかりと行ってください。

カメラのお手入れについて

- ・ベンジンやシンナー類、アルコール類は使用しないでください。
- ・コンパウンドが含まれた洗剤などで拭かないでください。傷がつき錆びる原因となります。
- ・レンズ部やまわりを乾いた布で拭くと傷の原因となりますので、汚れた場合は水を含ませたやわらかい布で軽く拭いてください。

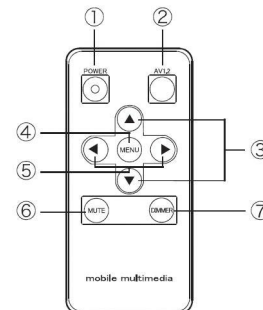
本体/リモコンの操作方法

モニター



- ① リモコンセンサー：リモコンの信号受光部
- ② MENU
- ③ 音量の調整 または 選択項目の調整及び設定
- ④ 音量の調整 または 選択項目の調整及び設定
- ⑤ SEL (▲▼) 上下の移動及び設定
- ⑥ 電源・外部入力
 - 1秒以上長く押すと電源ON/OFF
 - 短く押すと入力切替

リモコン



- ① POWERボタン：電源ON/OFF
- ② AV1.2：ビデオ入力切替ボタン
切替ボタンを押すたびにAV1とAV2が切り替えます。
- ③ UP-DOWNボタン：メニューリストから上下移動
- ④ MENU：メニューに移動します。
- ⑤ ◀▶：画面設定・機能設定をするためのボタン
- ⑥ MUTE
- ⑦ DIMMER：手動で画面の明るさを調整します。(5段階)

モニター画面の調整・設定

画面調整

PICTURE	
BRIGHT(画面明るさ)	50
CONTRAST(画面明暗)	50
COLOR(画面色調)	50
TINT(画面色の濃度)	50
SHARPNESS(鮮明度)	50
SEL▼▲ ADJ◀▶	

- ① メニューボタンを1回押してPICTURE画面を出します。
(リモコンの場合のメニューボタン)
 - ② SELボタンで各項目を選択します。
(リモコンの場合は▲▼ボタン)
 - ③ ◀▶ボタンでお好みのレベルを選択します。
(リモコンの場合も◀▶ボタン)
- ※ メニュー画面は自動的に約10秒後消えます。
またはMENUボタンを4回押しますとメニュー画面が消えます。

画面設定-FUNCTION

FUNCTION	
REAR VIEW	ON/OFF
SCREEN	WIDE-NORMAL
BLUE BACK	ON-OFF
FMTX	OFF/88.3~90.0MHz
SEL▼▲ ADJ◀▶	

- ① MENUボタンを2回押してFUNCTION画面を出します。(リモコンの場合のメニューボタン)
- ② SELボタンで各項目を選択します。
(リモコンの場合は▲▼ボタン)
- ③ ◀▶ボタンでお好みのレベルを選択します。
(リモコンの場合も◀▶ボタン)

- ④ REAR VIEW(後方視界優先機能設定)自動動作設定をONにするとAV1優先動作になります。

※出荷時はON設定、AV1優先となります。

- ⑤ BLUE BACKをONにすると背景画面が青色設定になります。

- ⑥ FMTX (FMトランスミッター) は車のFMラジオを経由して車両スピーカーから音を出す機能です。
出荷時はOFF設定になっておりますので使用の場合はFMラジオの周波帯で使用されていないバンドを選んでください。
内蔵トランスミッターの周波帯は88.3MHzから90.0MHzまでです。
調整は0.1MHz単位で調整できますので各地方局のFMラジオに重ならない周波帯で使用ください。

- ⑦ MENU画面は自動的に約10秒後消えます。
またはMENUボタンを3回押しますとMENU画面が消えます。

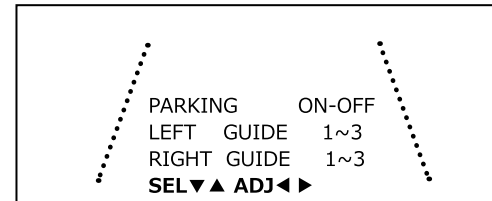
画面設定-FUNCTION

DISPLAY	
UP/DOWN	UP-DOWN
MIRROR AV1	ON-OFF
MIRROR AV2	ON-OFF
SYSTEM	NTSC (番組システム情報)
SEL▼▲ ADJ◀▶	

- ① MENUボタンを3回押してFUNCTION画面を出します。
(リモコンの場合のメニューボタン)
- ② SELボタンで各項目を選択します。
(リモコンの場合は▲▼ボタン)
- ③ ◀▶ボタンでお好みのレベルを選択します。
(リモコンの場合も◀▶ボタン)

- ④ UP/DOWNをDOWNすると表示画面が上下反転した状態で映し出されます。
- ⑤ MIRROR AV 1 /AV2をONにすると表示画面が反転した状態で映し出されます。
※鏡像/正像機能の無いカメラで鏡像として使う場合の機能です。
- ⑥ メニュー画面は自動的に約10秒後消えます。
またはMENUボタンを2回押しますとメニュー画面が消えます。

駐車線の設定



- ① MEMUボタンを4回押してFUNCTION画面を出します。
(リモコンの場合メニューボタン)
- ② SELボタンで各項目を選択します。
(リモコンの場合は▲▼ボタン)
- ③ ◀▶ボタンでお好みのレベルを選択します。
(リモコンの場合も◀▶ボタン)

- ④ PARKINGをONにすると、バックカメラからの映像画面に駐車案内線が表示されます。
※バックするときのみ表示します。
- ⑤ 駐車線はLEFT GUIDE/RIGHT GUIDEを通じて3段階移動することができます。

故障かなと思ったら

操作できない

- ▶
- ・電源コードが外れていませんか？
⇒ 電源コードを確認してください。
 - ・ヒューズが切れていませんか？
⇒ ヒューズをチェックしてください。
 - ・アースがきちんととれていますか？
⇒ ボディーアースのチェックをしてください。

音声・音が出ない

- ▶
- ・配線が確実にされていますか？
⇒ 配線を再度確認してください。
 - ・入力切替を間違えていませんか？
⇒ 正しい入力モードに切り替えてください。
 - ・音量を最小にしていませんか？
⇒ 音量を再度確認してください。
 - ・MUTEにしたままになっていませんか？
⇒ MUTEを解除してください。

映像が出ない

画面が暗い

- ▶
- ・電源が入っていますか？
⇒ 電源を入れてください。
 - ・他のAV機器との接続を間違えていませんか？
⇒ 接続を確認してください。

リモコン操作が出来ない

- ▶
- ・電池の入れ方を間違えていませんか？
⇒ 電池の+-の向きを確認してください。
 - ・電池が消耗していませんか？
⇒ 新しい電池と交換してください。
 - ・送信距離が遠すぎませんか？
⇒ 本体と2m以内の範囲で操作してください。
 - ・リモコンと本体の信号受光部に障害物がありますか？
⇒ リモコンと本体の信号受光部に障害物がないか確認してください。

製品仕様

7インチワイドモニター

モデル品番	WDMK-007
作動電圧	DC12V～24V
最大消費電流	12V,400mA / 24V,210mA
ビデオタイプ	NTSC
ビデオ入力レベル	1Vp-p, 75ohm
画面サイズ	7インチLED Back light LCD(800*480)WVGA
サイズ	183.5mm*109.5mm*16.5mm
重さ	約360g
動作温度	0℃～60℃

広角ミニカメラ

モデル	YKC-20A
イメージセンサー	1/3" CMOS イメージセンサー
シグナル雑音比	44dB (Max)
シグナルシステム	NTSC or PAL
撮像素子	720(H) X 480(V) 34万画素
ビデオアウト	コンポジット(1Vp-p, 75 ohm)
レンズ	ワイド ビューレンズ (Diagonal 210°)
画角	水平(最大160°)
	垂直(最大120°)
作動電圧	DC12V～24V
最大消費電力	80mA ,12V / 50mA ,24V
動作温度	-20℃ ～ 70℃
重さ	約 75g (ケーブル含まない)
本体外形寸法	約 32 (W) X 30(H) X 38(D)(Body)
防水規格	IP69K

法規の改正

2009年1月1日以降に製作された乗車定員10人未満の乗用車に車載カメラ等の外装品を取付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準(※)」に準拠した取付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますのでご注意ください。

「外装の技術基準(※)」「抜粋」

自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者等に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向または硬さを有するいかなる突起を有してはならない。

適応外となる部位

- ・高さ2m以上の部分
- ・フロアラインより下の部分
- ・直径100mmの球体が接触しない部分
- ・曲率半径が2.5mm以上となっている部分
- ・突出量が5mm未満で突起の外向き端部に丸みが付いている部分
- ・突出量が1.5mm未満の部分
- ・突起の硬さが60シヨア(A)相当以下となっている部分

対象車種

- ・2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車。
(乗車定員10人未満の、専ら乗用の用に供する自動車)

尚、2008年12月31日までに製作登録された車両につきましては対象外となりますが、新基準に準拠した取付けをおすすめします。

法規の詳細は国土交通省のホームページにてご確認ください。

- ・国土交通省ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/index.html>

- ・保安基準等関係基準の各条文検索一覧表【保安基準(自動車)】
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou_index.pdf

- ・第18条細目告示別添20外装の技術基準
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet_020_00.pdf